

平成27年度第1回 ISO/TC46/SC11国内委員会議事録

1. 日時：平成27年7月28日（火）10：00～12：00
2. 場所：（一般社団法人）情報科学技術協会（文京区小石川2-5-7）
3. 出席者（敬称略）：保坂裕興、西川康男、伊東敦子、長谷川英重、中島康比彦、
黒田裕芳、榎林幸一（事務局）光富健一
4. 事務局連絡：新委員として国立国会図書館伊東敦子氏が参加されることとなった。
5. 前回議事録確認：異議なく承認された。

6. 議題

1) 平成27年度実施計画及び国際提案のための体制作り

事務局より、以下のタイトルの、TC46の3年計画の初年度計画書の説明があった。

「平成27年度社会ニーズ（安全・安心）・国際幹事等排出分野に係る国際標準化活動実施計画」（テーマ名：デジタルアーカイブの利活用に関する国際標準化）

SC11の事業内容は、計画書の3. デジタルアーカイブ国際標準化のための環境整備の下で、「デジタルアーカイブによる保存の効果を明確にする」こと。

- 2) 前回委員会以降のSC11投票済案件について報告があった。
- 3) 新規審議案件として次の案件を審議した。

N1527：Call for participation to ISO/TC46/SC11/WG14 Records requirements in enterprise architecture

[対応] 日本からは、黒田裕芳委員をエキスパートとして登録することになった。

ISO 23081-1:2006 (vers 2)

Information and documentation—Records management process—Metadata for records—Part-1: Principles

[対応] 11月15日までに委員の意見をまとめて投票案を作ることとなった。

4) ISO/TC46 北京総会報告

2015年のISO/TC46北京総会についてSC11リーダー保坂裕興氏（学習院大学）より報告があった。報告内容は、当日の配布資料の北京総会報告に概況、主な内容及び別に詳しい報告がある。

<主な内容のポイント> *詳細は報告書本文参照

(1) 組織上の変更点

- ・WG14新設 *日本でのサーベイが必要
- ・WG13[ISO15489-1及び2の改定]のの中に2つのPGを設置

(2) 新しい動向/新年度事業について

・「クラウドにおける記録管理：リスクと推奨事項」の検討

(3) 基幹規格関連についての進展状況

5) 今後の SC11 からの国際標準化提案について

- ・近年のエンタープライズ、オープンデータ等を整理して ISO30300 や ISO15489 などを受けて環境整備が必要との意見あり。確認すべき項目を設定した汎用のワークシートのようなものを作成し、各委員が無理のない範囲で関連するドキュメントや取り組み状況について記述し、SC11 を取り巻く環境に関する検討材料を作成すべきとの提案がなされた。基本的に了承された。ワークシートを作成する予定となった。
- ・ドキュメント・マネジメント団体との協働も必要。
- ・委員より SC11 の役割見直しについての意見あり。
- ・委員より、公（政府）の記録管理は個別の法規制がベースであり、むしろ民の分野からのアプローチが必要との意見あり。

6) その他

特になし